



笹小だより



令和5年8月29日号

伊丹市立笹原小学校

夏休み - 地域の中で輝く笹っ子たち

38日間の夏休みを終えた子どもたちが、再び学校に戻ってきました。今年の夏は、7月から猛暑日が続き、何度も「熱中症警戒アラート」が発表されることがありました。しかしここ数年とは異なり、コロナによる行動制限もなく、楽しい時間を過ごされたご家庭も多かったのではないのでしょうか。

7月22日、本校運動場で縮小して開催された4年ぶりの『笹原まつり』にもたくさんの方が集まり、会場は活気とともに子どもたちの笑顔であふれていました。本校職員も出店し、普段とはちがった子ども達の姿に出会っていました。久しぶりに地域と学校が、行事の中でともに躍動する姿を見て、大変心強く感じました。

また、各自治会等で開催された夏祭りでは、櫓で太鼓をリズムよく叩く小中学生の姿や地域に伝わる「むぎわら音頭」を上手に踊る姿を見ることが出来ました。

祭りの中で「早飲み・早食い競争」が行われていた地域では、と満面の笑顔で出場していた笹っ子の姿が印象的でした。いずれも思い出となる夏のひとときだと感じました。

2学期の始業式をオンラインで行いました。各教室では、長い夏休みから戻ってきた子どもたちが、先生や友だちにそれぞれの思い出を話している姿も見られました。

① 引き続き 熱中症対策を！

今年の夏は、連日の猛暑日・真夏日が続きました。今も立秋が過ぎたとは言え、まだまだ暑い日が続いています。1学期には体育の時間だけでなく、あらゆる機会をとらえて、十分な水分がとれるよう「お茶休憩」などの時間を確保し、熱中症対策をしてきました。熱中症は、気温や湿度をはじめその時の体調や激しい運動、屋外での行動にも起因します。熱中症の初期サインには、「めまい」や「立ちくらみ」「顔のほてり」や「筋肉のけいれん」等があるとも言われています。

今年は、甲子園での全国高等学校野球選手権大会で、熱中症対策のための10分間のクーリングタイムが設けられていました。試合中に選手が体を冷やすため、送風機やスポットクーラー、冷凍庫、サーモグラフィ一等も完備され、水分補給などを行っていたようです。

7月27日には近隣の豊中市での39.5度や枚方市の39.8度など記録的な暑さが記録されました。2学期からは、体が熱さに慣れる「暑熱順化」が夏休みでいったんリセットされ、再びリスクが高まるとも言われています。9月になっても安心せず、水分・帽子・休憩などを忘れず、自分の体を自分で守りましょう。



野間盆踊り「早飲み競争」



「むぎわら音頭」



車塚南公園での盆踊り



笹原まつり



② 連続する台風・大雨により大きな被害



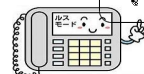
8月15日午後、台風7号の影響で兵庫県内全域で暴風や大雨などの警報が発表され、川の氾濫や土砂崩れで道路が冠水したり、住居への土砂流入や床上浸水などの被害も相次ぎ、13市町では約34万人に「避難指示」が出されたと報道がありました。ニュースによると、倒木や風にあおられて転倒した方もたくさんおられたようです。これから秋に向かうと、まさに台風シーズンの到来です。急に学校が臨時休業日となることもあるかも知れません。仮に休みとなっても、増水などの危険があるため、川や溝には決して近づかず、気象警報等を常に意識して過ごすことが大切です。今回、台風による被害は想定より少なかったようですが、本校では中庭にあったザクロの大きな木が途中から折れてしまいました。危険なためすぐに撤去しました。全国的には、台風6・7号の速度が遅かったため暴風に加え、大雨の影響で川の氾濫・冠水・床上浸水など被害を受けられた地域が多くありました。交通機関にも大きな影響があり、お気の毒に思うばかりです。

8月上旬の新聞記事に、地球温暖化やヒートアイランド現象と季節の変化についての記載がありました。その記事によると、春と秋の平均気温が上昇し、日本らしかった四季の変化が感じにくくなっているようです。気象庁の調べによると100年の間に、春(3～5月)秋(9～11月)ともに平均3度ほど上昇しているようです。このことにより、植物や農業などに大きな影響をおよぼしているようです。

4月の入学式の「サクラ」や秋の深まりを味わう「カエデ」の紅葉も徐々に時期が変わってきているようです。四季の変化を脅かす春と秋の気温上昇、そして猛暑日や熱帯夜が続く夏…。長年日本の季節の移り変わりを感じていた自然は、もはや過去のこととなったのでしょうか。

留守番電話の時間帯を変更します

17:30～翌7:45



本校では現在、学校の留守番電話を時間帯(18:30～翌7:30)を区切って使用しています。もともと学校への電話が一番多い時間帯が朝でした。学校関係機関等からの連絡も多岐にわたりますが、やはり一番多いのが「欠席連絡」と「遅刻連絡」でした。電話が鳴ると近くの席の職員が受電し、保護者等からの連絡を受けたり、内容によっては校内放送で担任を教室から職員室まで呼び返すなどしていました。そのため担任が電話口に出るまでお待たせしたり、折り返しの電話を待っていただくこともあったりと、お時間をいただいていたことと思います。

しかし、コロナ禍による数年間に、全市的に「欠席や遅刻の連絡」は、google formsでしていただくこととなり、電話件数はずいぶん減りました。また校内では、受電内容をデータで担任と共有できるようにしたことにより、教員が職員室とそれぞれの教室間を往復する時間も削減してきました。そして、保護者の皆様のご協力により、担任に直接伝えたいことを連絡帳やお手紙等でいただくことにより、何とか円滑に進むようになってまいりました。

さらにこの度、①教員が教室で子どもとの時間を確保するため、②時間外の対応を減らし、心身ともに健康な状態で児童への指導にあたる環境作りのため、留守番電話の使用時間帯を変更(18:30～翌7:30から17:30～翌7:45)することとしました。ご不便をおかけすることもあるかも知れませんが、ご理解いただきお電話でのご用の際は、他の時間帯(17:30～翌7:45以外)でのご連絡をよろしく願いいたします。学校からの電話の折り返しをいただきましても、この時間帯には通じないこともお含みください。

欠席・遅刻等の連絡については、引き続き現行のgoogle formsの使用にご協力願います。なお留守番電話の新時間帯(17:30～翌7:45)での実施は、9月1日(金)朝からといたします。ご理解・ご協力のほどよろしく願いいたします。

